

保護者 様

松山市立五明小学校
校長 和田 俊樹

令和6年度五明小学校学校評価の結果について

早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。日頃より、学校教育にご理解、ご支援をいただき感謝申し上げます。
さて、学校評価について、アンケート結果をとりまとめましたのでお知らせいたします。集計結果を真摯に受け止め、今後の取組や支援・指導方法に生かしてまいります。アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。
なお、2月27日(木)に学校評議員会を開催し、本評議員の皆様より、多くの温かいご意見、ご感想をいただきました。
これからも、学校・家庭・地域が連携し、子どもたち一人一人に丹精を込める教育を展開してまいりたいと存じます。引き続き、保護者の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和6年度 五明小学校 学校教育アンケート結果【学校経営について】 ※回答:教職員(学習アシスタント等含む) 学校関係者(学校評議員、保護者)

【総合判定 A:肯定率90%以上 B:肯定率60%以上90%未満 C:肯定率60%未満 (松山市の基準による)】 (9%)

評価領域	総合判定	肯定率平均	評定平均	評価項目	対象	肯定率	評定	4	3	2	1
教育課程 学習指導	A	100.0	3.65	学校は、一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できるような授業を行っている。	教職員	100	3.7	70	30	0	0
					学校関係者	100	3.6	63	37	0	0
	A	97.0	3.60	学校は、アナログとデジタルそれぞれのよさを適切に生かした授業改善に取り組んでいる。	教職員	100	3.7	70	30	0	0
					学校関係者	93	3.5	60	33	0	7
	A	100.0	3.75	学校は、児童の学力や体力の状況を把握し、それらの充実に向けた指導を行っている。	教職員	100	3.9	90	10	0	0
					学校関係者	100	3.6	63	37	0	0
人権・同和教育 生徒指導	A	100.0	3.70	学校は、人権・同和教育の視点に立ち、いじめや差別を許さない意識や態度を育てている。	教職員	100	3.8	80	20	0	0
					学校関係者	100	3.6	61	39	0	0
	A	97.0	3.50	学校は、「学校のきまり」などの見直しを行い、不登校対策を重視し、児童の実態に応じた生徒指導を行っている。	教職員	100	3.6	60	40	0	0
					学校関係者	94	3.4	44	50	6	0
キャリア教育	A	100.0	3.45	学校は、自分のよさを知り、将来への夢を持った子どもを育てている。	教職員	100	3.3	30	70	0	0
					学校関係者	100	3.6	60	40	0	0
安全管理	A	100.0	3.75	学校は、児童に交通安全やけが等を防止について適切な指導を行うとともに、安全な環境づくりに努めている。	教職員	100	3.8	80	20	0	0
					学校関係者	100	3.7	69	31	0	0
保健管理	A	100.0	3.75	学校は、児童の健康状態を確認するとともに、環境衛生を整え、児童の健康保持・増進に努めている。	教職員	100	3.8	80	20	0	0
					学校関係者	100	3.7	73	27	0	0
	A	100.0	3.85	学校は、換気や手指消毒等の基本的な感染症対策を行っている。	教職員	100	3.9	90	10	0	0
					学校関係者	100	3.8	80	20	0	0
特別支援教育	A	100.0	3.85	学校は、特別支援教育の視点を持って取り組み、個に応じた配慮や指導を行っている。	教職員	100	3.9	90	10	0	0
					学校関係者	100	3.8	79	21	0	0
組織運営	A	100.0	3.90	学校は、管理職や担当教員等を中心に、チームとして組織的に対応している。	教職員	100	4.0	100	0	0	0
					学校関係者	100	3.8	75	25	0	0
研修	A	100.0	3.70	学校は、子どもたち一人一人が分かる授業づくりや教育課題への対応のため、積極的に研修に取り組んでいる。	教職員	100	3.8	80	20	0	0
					学校関係者	100	3.6	63	37	0	0
保護者・地域との 連携・情報提供	A	100.0	3.85	学校は、教育活動の充実に向けて地域や保護者と連携・協力している。	教職員	100	3.9	90	10	0	0
					学校関係者	100	3.8	83	17	0	0
	A	97.0	3.90	学校は、学校・学年だよりやホームページ等により、積極的に情報を発信している。	教職員	100	4.0	100	0	0	0
					学校関係者	94	3.8	81	13	6	0
教室環境整備	A	100.0	3.70	学校は、板書や掲示を工夫し、児童の言語活動等の環境整備に努めている。	教職員	100	3.8	80	20	0	0
					学校関係者	100	3.6	63	37	0	0
幼保小中連携	A	100.0	3.70	学校は、小1プロブレムや中1ギャップの解消につなげるために関係園・校で連携し、児童の学校生活に対する不安感の軽減を図っている。	教職員	100	3.7	70	30	0	0
					学校関係者	100	3.7	67	33	0	0
	A	100.0	3.80	学校は、教育の質の向上のために関係園・校で連携し、学校間の系統性を重視した学習指導を行っている。	教職員	100	3.9	90	10	0	0
					学校関係者	100	3.7	71	29	0	0

自由記述

- ・子どもたちの挨拶がよく、交通ルールを守ることができています。
- ・先生方の仕事量が改善され、時間にゆとりができることを願っています。
- ・誇りある伝統芸能を引き継いでほしいです。小規模校のよさ、五明のよさを広くアピールして児童数増、五明小の存続をお願いしたいです。
- ・給食をランチルームで食べる形に戻してほしいです。
- ・「夏休みの学習」がやりにくいので、問題集形式に変更してほしいです。
- ・連合音楽会の出場を、2年に1回に増やしてほしいです。

考察

全領域がA評価となっており高い肯定率を得ています。肯定率の平均で見ると4つの項目で97.0%ですが、そのほかは100%です。中でも、「組織運営」、「保護者・地域との連携」は、評定平均も高く、学校がチームとして取り組んでいること、地域・保護者との協働体制が評価されたと考えられます。また、「保健管理」、「特別支援教育」、「幼保小中連携」も肯定率や評定平均が高く、良好な結果を得ることができました。今後も、引き続き、基本的な生活習慣の定着を図るとともに、児童一人一人に応じた指導や支援を行ってまいります。また、五明幼稚園を中心とした幼小連携を通して、思いやりの心を育てていきたいと思っております。

一方で、「アナログとデジタルのよさを生かした授業改善」、「生徒指導」は、他に比べてやや低い評価になっています。これらの課題については、教育活動計画や実践内容を見直していきます。「アナログとデジタルのよさを生かした授業改善」については、授業における一人一台タブレット端末の活用を定期的に見直していきます。また、「生徒指導」については、不登校の児童が増えている現状を踏まえ、ケース会議による関係者の連携強化や保護者支援、情報提供、タブレット端末を活用した教科指導の工夫等、児童一人一人の社会的自立に向けた「誰一人取り残さない」不登校対策に取り組んでいきます。

社会情勢や環境の変化に応じた、持続可能な取組を進める中で、児童一人一人にとって魅力ある学校となるよう努力していきたく思います。「小規模校だからこそ、五明だからこそできることを」という視点を大切にしながら、家庭や地域と一層連携し、「学び、鍛え、よりよく行動する児童」を育成してまいります。

【総合判定 A:肯定率90%以上 B:肯定率60%以上90%未満 C:肯定率60%未満 (松山市の基準による)】

学校教育目標・重点項目			総合判定	肯定率平均	評定平均	対象	肯定率	評定	評価 (○課題 ◆改善策等)	
教育目標	目指す児童像	重点項目								
学び、鍛え、よりよく行動する児童の育成(やさしくかしくたくましく)	思いやりのある子	明るい挨拶	A	93	3.4	教職員	90	3.4	○教職員や学校関係者の評価に比べて児童の評価がやや低くなっています。自分から進んで挨拶することに課題があります。 ◆教職員から積極的に挨拶するとともに、粘り強く挨拶の大切さを児童に説明します。	
						児童	90	3.3		
						学校関係者	100	3.6		
		学校や地域との交流と伝統文化の継承	A	97	3.6	教職員	100	3.7		○全体的に評価が高くなっています。教職員や学校関係者の評価が高いです。 ◆今後も公民館と連携した行事の充実や五明太鼓の継承を通じて、五明のよさや特色を知り、大切にしようとする児童を育てます。
						児童	90	3.4		
						学校関係者	100	3.7		
	認め合い、支え合う仲間づくり	A	96	3.5	教職員	100	3.8	○全体的に高い評価になっています。児童の評価も高いです。 ◆道徳科や学級活動、集会活動、いじめ0の日の活動等、教育活動全体を通して、相手の立場や気持ちを思いやる児童を育てます。		
					児童	95	3.8			
					学校関係者	94	3.6			
	異年齢集団活動の充実	A	98	3.5	教職員	100	3.6		○全体的に高い評価となっていますが、少人数による清掃や委員会活動を充実させるために、引き続き工夫が必要です。 ◆状況に応じた対応を心がけるとともに、持続可能な活動になるよう見直していきます。	
					児童	95	3.8			
					学校関係者	100	3.6			
進んで学ぶ子	基礎学力の定着	A	92	3.3	教職員	100	3.4	○児童の評価が低く、基礎学力の定着に自信を持っていないと思われます。 ◆評価テスト等によって一人一人の実態を把握し、個に応じた指導に継続的に取り組むとともに、不登校児童への支援を行います。		
					児童	83	3.3			
					学校関係者	94	3.3			
	主体的・対話的で深い学びの場の工夫	A	90	3.4	教職員	90	3.3		○進んで自分の考えを伝えたり、課題解決に向けて粘り強く取り組んだりすることが十分でないという評価が多いです。 ◆授業における児童の活躍を見逃さず、問題解決の過程や成果を認め、励まします。	
					児童	86	3.3			
					学校関係者	94	3.4			
読書活動の推進	B	74	3.1	教職員	67	3.0	○読書活動が十分でなく、他の項目と比較して低い評価となっています。 ◆読み聞かせや「ビブリオバトル」の活動を見直すとともに、学校図書館の活用を検討し、日常的な読書活動を推進します。			
				児童	86	3.2				
				学校関係者	69	3.2				
元気でがんばる子	健康づくり	A	97	3.5	教職員	100		3.8	○全体的に高い評価となっていて、教職員と児童の肯定率は100%となっています。 ◆今後も、家庭と連携して「早寝・早起き・朝ごはん」をはじめとする基本的な生活習慣の定着に取り組みます。	
					児童	100		3.9		
					学校関係者	91		3.4		
	体力づくり	A	96	3.6	教職員	100	3.6	○最後まで学習や活動を踏ん張ってやり遂げる基礎体力の向上が課題です。 ◆全校体育を通じて、運動の魅力を伝えるとともに、めあてを持って学習や活動をやり遂げようとする態度を育てます。		
					児童	100	3.9			
					学校関係者	89	3.4			
体験活動の充実	A	92	3.6	教職員	100	3.8	○一人一人が役割を果たそうとしているが積極性がやや十分ではありません。 ◆体験的活動後の振り返りの中で、互いに感謝の気持ちを伝え合うことを通して、自信を持たせ、積極性を育みます。			
				児童	95	3.8				
				学校関係者	81	3.2				

評価項目	判定	肯定率	評定	4	3	2	1	評価
毎日、五明小学校に行くのが楽しい	A	90	3.5	13	6	1	1	全項目がA評価となっていて、多くの児童が安心して学校生活を送っていることが分かります。 しかし、いくつかの項目において、『1:あてはまらない』『2:あまりあてはまらない』と回答している児童がいます。児童一人一人に居場所があり、友達とのつながりを感じる環境を整えていきます。また、複式学級における指導や支援、ICTの活用等を積み重ね、引き続き学力の定着に取り組むとともに、幼小連携を通して、思いやりの心を育みます。 児童一人一人にとって魅力ある学校となるよう、「小規模校だからこそ、五明だからこそできることを」という視点から、学習や活動を見直していきます。
五明小学校の授業はよく分かる	A	95	3.8	17	3	1	0	
五明小学校には、安心して話せる先生や友達がいる	A	100	3.9	19	2	0	0	
松山や五明は、大好きで大切にふるさとだ	A	100	3.9	19	2	0	0	
五明幼稚園の子どもといっしょに活動することが楽しい	A	95	3.8	19	1	0	1	